

# 町民の広場

寺戸 須雄さん  
(82歳)



◆高齢者事業団に長く勤められた寺戸須雄さんにお話を伺いました。(要約しています)

Q ニセコひらふ地区に多くの外国の観光客が来てくれて、町も随分と変わりました。

A 英語を話せる息子がスキー場に働きに行っている。食堂が余りないから、そこにはお客さんが沢山来るそうだ。日本人も来るけど、外国人が多く繁盛しているようだ。でも、人がいないから仕事を追いかけて大変だと言っている。丁寧に働く人が足りないようだ。

Q 新幹線が新函館北斗駅まで開通しました。倶知安でもトンネル工事が始まり、いよいよです。

A 倶知安に来るまで後14年だから、我々はあの世に行っているけど、倶知安に沢山お客さんが降りてくれるといいな。ニセコに行くのに足が必要になる。ハイヤー会社は大変だ。

Q 今はまだ車を運転してるけど、後3年もしたら免許を返して、じゃがりん号やハイヤーを使わないといけなくなる。ハイヤー券は、一世帯20枚か30枚か。それなら足りないな。

Q 町政や議会に対して何かご意見ありますか。

A 町で一番気になってるのは『銭湯』。公衆浴場。今、無いから。この辺でないのは、倶知安町ぐらいでないか。第1町がやらないのなら、第一会館に大きな風呂が無いから温泉でも持つてき

てくれるとありがたいんだけど。町長と話す機会もないから、議会に力を貸してもらえればと思っている。

Q 町長には、具体的にこんなことをやるといった事を話してもらいたい。いろんな会合に出ているようだけれど、なかなかゆっくり話す機会がない。パークゴルフの町長杯にも来るけど、挨拶だけだ。町長も若いんだから一緒にプレーをしてほしい。

Q 最後に、『議会だより』は読まれておりますか。

A 毎回読んでるけど、関心がある記事だけを読むことがほとんどだ。読みづらいといった事も特にはない。

◆ご意見ご協力を、ありがとございます。

## 議長室からこんにちは

今年も最後の月を迎えました。今日から師走、いよいよ多忙な時期です。今年こそはと目標を立てて進んだ方も夢を抱きながら進んだ方もいろんな道を歩いたと思いますが、この一年を振り返るには少し早いようですが、そうこうしているうちに12月です。こころへんで一度立ち止まって最後の月に思い残しのないように過ごすことも必要です。

倶知安町は今年も大きな変化がありました。倶知安町の十大ニュース、順番は別にしても給食センターの新築、統合保育所・幼稚園の改築、陸上自衛隊倶知安駐屯地の増員、高速道路倶知安共和間の着工認可、北海道新幹線トンネルの着工、今年も地価上昇率日本一、札幌オリ



ンピックニセコ山系がアルペン会場になどいろいろ出来事がありました。いずれにしても未来への希望が持てるニユースばかりです。

北海道新幹線の工事宿舎や事務所も町内に建設されて状況を呈しています。旧東陵中学校のグラウンドに建設された大きな櫓(高さ22メートル長さ100メートル)はひととき目立ちますが、町内を走る北海道新幹線の高架橋の試験仮設建築で2年間にわたり雪の影響など調査する施設です。高砂から高見までの約11キロがトンネルの多いなかで唯一、羊蹄山やニセコ連峰などを見ながら倶知安駅を発着する風光明媚な路線として期待されていますが、高架橋の上に雪対策としてシエルターが検討されています。検討の結果では高さ22メートルのシエルターが町内を横断することになり、私たちの考えていた新幹線の景色とは違うのではと心配しています。

倶知安町議会は、町民ファーストです。12月定例議会がもうじき始まります。どうか傍聴して生の真剣な議論を見ていただき更にインターネットの生中継なども観ていただけたらと思います。

厳寒のみぎり、ご自愛専一にて新年をお迎えください。

倶知安町議会議長 鈴木保昭